



平成 2 1 年 3 月 期
第 2 四 半 期 決 算 説 明 資 料

平成 20 年 11 月 28 日

トーイン株式会社



証券コード : 7923

平成21年3月期 第2四半期 決算概要

注意

- ① 本資料に記載の売上高の金額には、消費税等は含まれておりません。
- ② 本資料に記載の金額は、百万円未満の端数を切捨てて表示しております。
- ③ 本資料に記載の前期比、構成比等の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- ④ 本資料に記載の平成21年3月期通期の業績予想に関しては、第3四半期以降における日本経済や経営環境が不透明であるため、平成20年5月23日公表の業績予想の修正は行わず、当該数値を使用しております。

総括

当第2四半期（平成20年4月1日～平成20年9月30日）の業績については、包装資材事業は、営業強化及び受注拡大を目的に、7月に大阪営業所を開設し、8月にタイ国に TOIN (THAILAND) CO., LTD. (トーインタイランド) を設立しましたが、消費者心理の冷え込みに伴う包装資材の需要は食品・化粧品分野にも影響し、売上高は前年同期比2.1%減の4,385百万円となりました。精密塗工事業は、新規客先及び新規分野の需要先を積極的に開拓したことにより増収基調が続き、売上高は前年同期比24.4%増の955百万円となりました。その他事業は、野田事業所の医薬部外品・化粧品・食品製造などの許認可を必要とする受託包装事業が徐々に成長し、また販促関連製品の売上回復などにより、売上高は前年同期比13.3%増の387百万円となりました。

この結果、当第2四半期の全体の売上高は、前年同期比2.5%増の5,728百万円となりました。

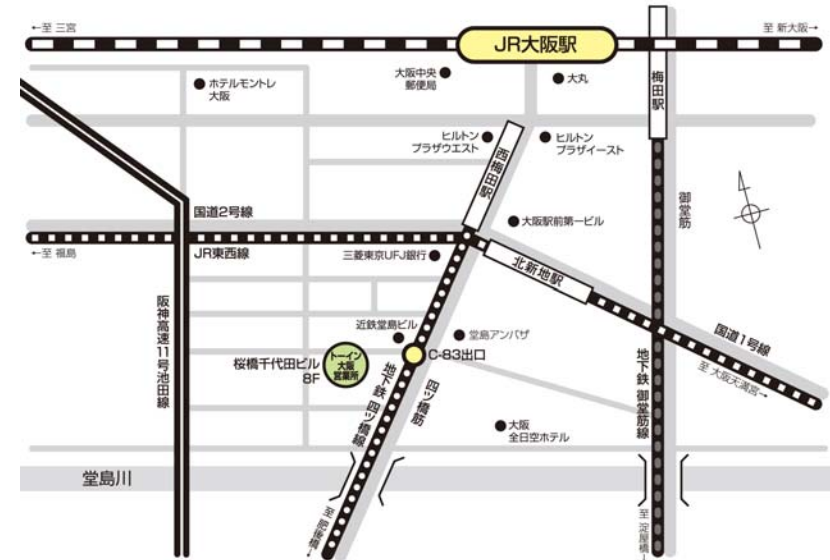
利益面については、包装資材事業は、生産効率・品質の向上により製造コストを引き下げたこと、原材料価格の上昇に対する販売価格の改定が徐々に浸透したことなどにより利益面は改善され、精密塗工事業は、積極的な営業活動の展開、品質管理体制の充実強化により増益基調が続き、その他事業は、売上の回復に伴い、増益基調に転じたことなどにより、当第2四半期の全体の営業利益は前年同期比120百万円増の81百万円、経常利益は前年同期比113百万円増の60百万円、四半期純利益は前年同期比90百万円増の49百万円となりました。

<当期のトピックス>

平成20年7月 関西、京阪神地区の事業拡張に伴い、大阪営業所を開設する。

《大阪営業所の概要》

営業所名 トーイン株式会社 大阪営業所
 所在地 大阪府大阪市北区堂島2-1-27
 桜橋千代田ビル8F
 連絡先 TEL 06-6136-4351
 FAX 06-6136-4363



平成20年8月 東南アジアにおける受注活動の拠点として、当社子会社 TOIN (THAILAND) CO., LTD. (トーインタイランド) を設立する。

《トーインタイランドの概要》

会社名 TOIN (THAILAND) CO., LTD.
 所在地 タイ国 バンコク
 代表者 甫坂 健
 (当社 取締役 開発事業部門長)
 資本金 1,250万バーツ
 (日本円換算 約40百万円)
 出資比率 80%
 事業内容 包装資材等の輸出入及び販売



平成21年3月期 第2四半期損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 (H20/4~H20/9)		前年同期 (H19/4~H19/9)		増減	備考
		%		%		
売上高	5,728	100.0	5,591	100.0	137	
売上原価	4,911	85.7	4,931	88.2	△20	
売上総利益	817	14.3	659	11.8	157	
販売費及び 一般管理費	735	12.8	698	12.5	37	
営業利益	81	1.4	△38	△0.7	120	
営業外収益	19	0.3	21	0.4	△1	
営業外費用	41	0.7	35	0.6	5	
経常利益	60	1.1	△52	△0.9	113	
特別利益	66	1.2	2	0.0	63	
特別損失	12	0.2	6	0.1	5	
四半期純利益	49	0.9	△41	△0.7	90	

平成21年3月期 第2四半期貸借対照表

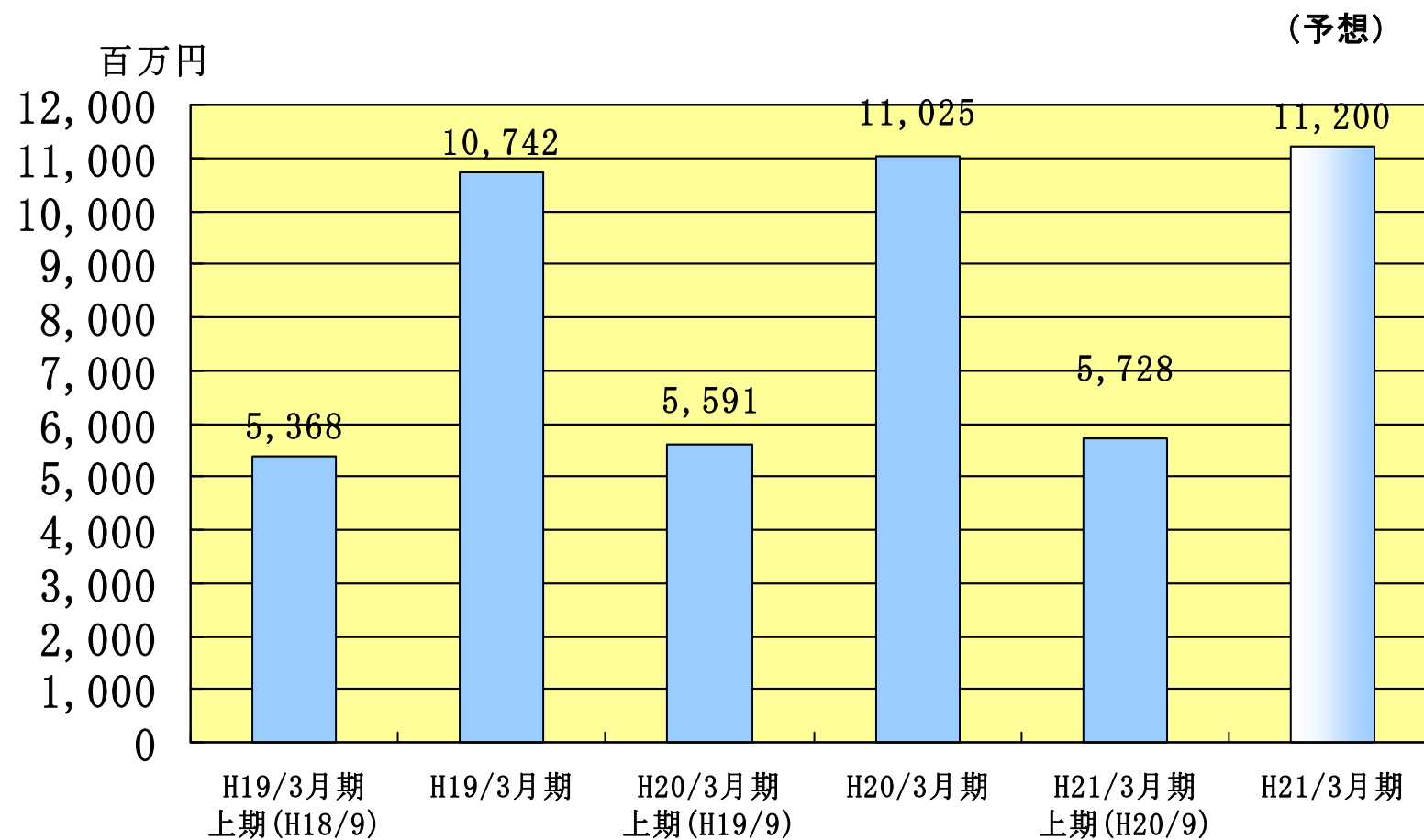
	当第2四半期末 (H20/9)		前期末 (H20/3)		増 減	備 考
		%		%		
流動資産	6,871	45.2	6,761	44.8	109	
固定資産	8,343	54.8	8,328	55.2	15	
有形固定資産	6,556	43.0	6,763	44.8	△206	減価償却累計額の増加
無形固定資産	73	0.5	41	0.3	32	
投資その他の資産	1,713	11.3	1,524	10.1	188	関係会社貸付金の増加
《資産合計》	15,215	100.0	15,090	100.0	124	
流動負債	4,318	28.4	3,897	25.8	421	仕入債務の増加
固定負債	1,950	12.8	2,201	14.6	△251	長期借入金の減少
《負債合計》	6,269	41.2	6,099	40.4	170	
株主資本	8,827	58.0	8,819	58.4	7	
資本金	2,244	14.8	2,244	14.9	—	
資本剰余金	2,901	19.1	2,901	19.2	0	
利益剰余金	4,137	27.2	4,129	27.4	7	
自己株式	△ 456	△3.0	△ 456	△ 3.0	0	
評価・換算差額等	118	0.8	171	1.1	△53	
《純資産合計》	8,945	58.8	8,991	59.6	△45	
《負債 純資産合計》	15,215	100.0	15,090	100.0	124	

平成21年3月期 第2四半期 キャッシュ・フロー計算書

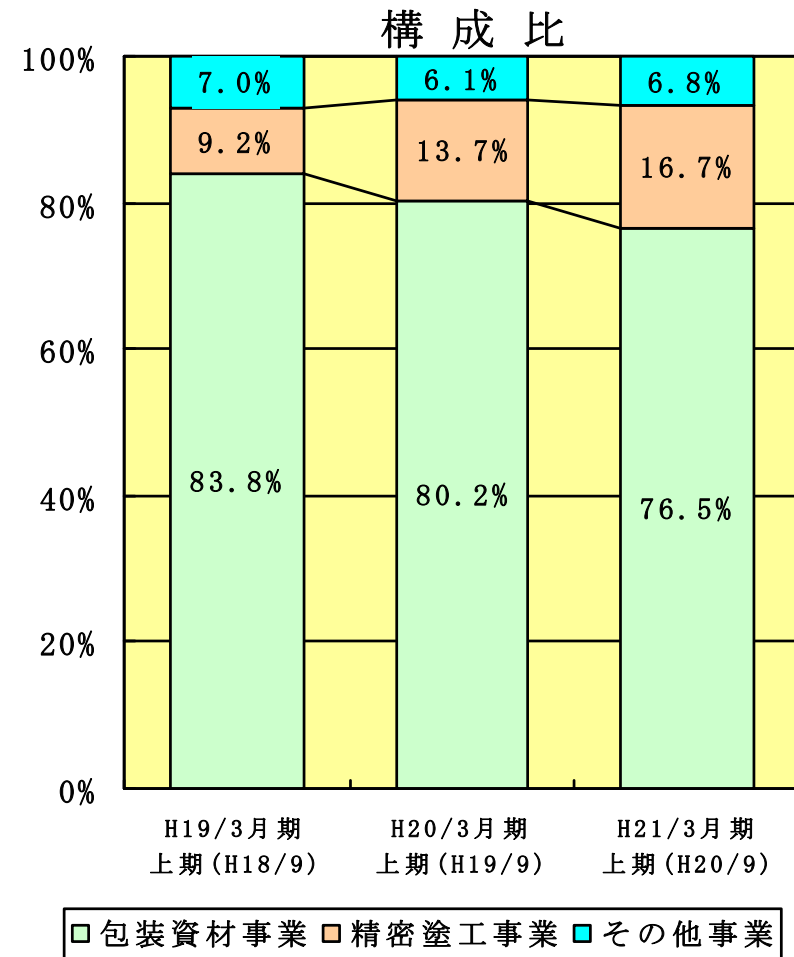
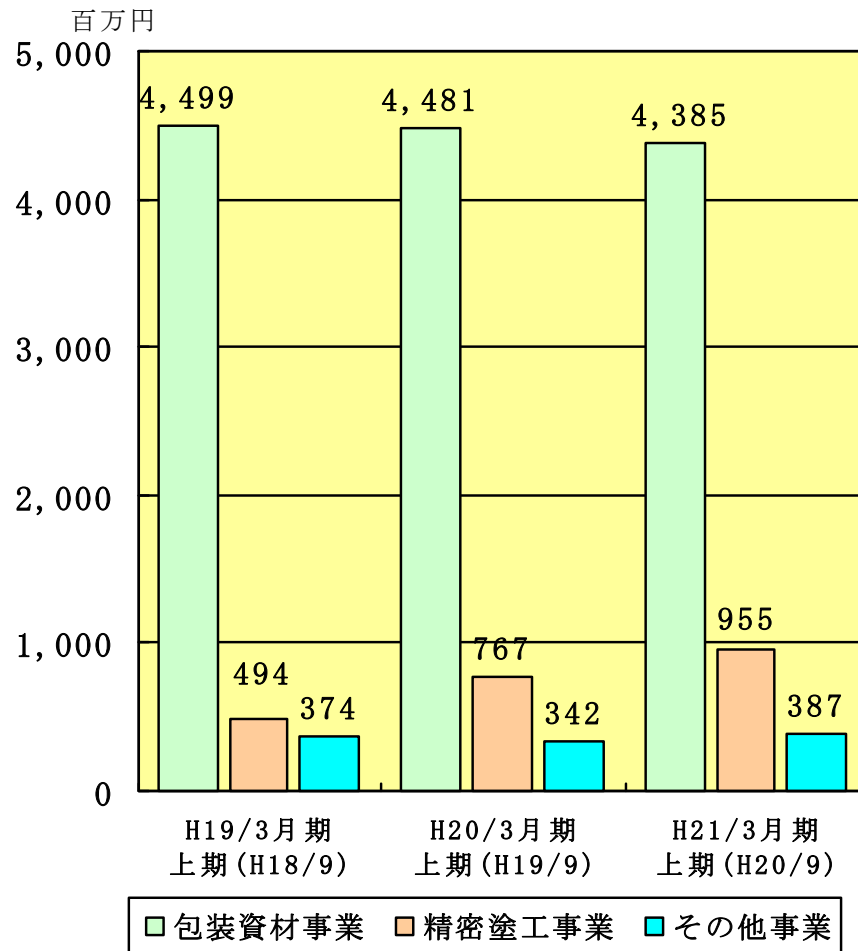
(単位：百万円)

	当第2四半期 (H20/4~H20/9)	前年同期 (H19/4~H19/9)	当第2四半期の特記
営業活動による キャッシュ・フロー	290	32	
投資活動による キャッシュ・フロー	△282	△85	貸付による支出 197百万円 投資有価証券の取得による支出 90百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△308	67	長期借入金の返済による支出 256百万円
現金及び現金同等物 の増減額	△301	15	
現金及び現金同等物 の期首残高	2,271	1,861	
現金及び現金同等物 の四半期末残高	1,969	1,876	

売上高の推移

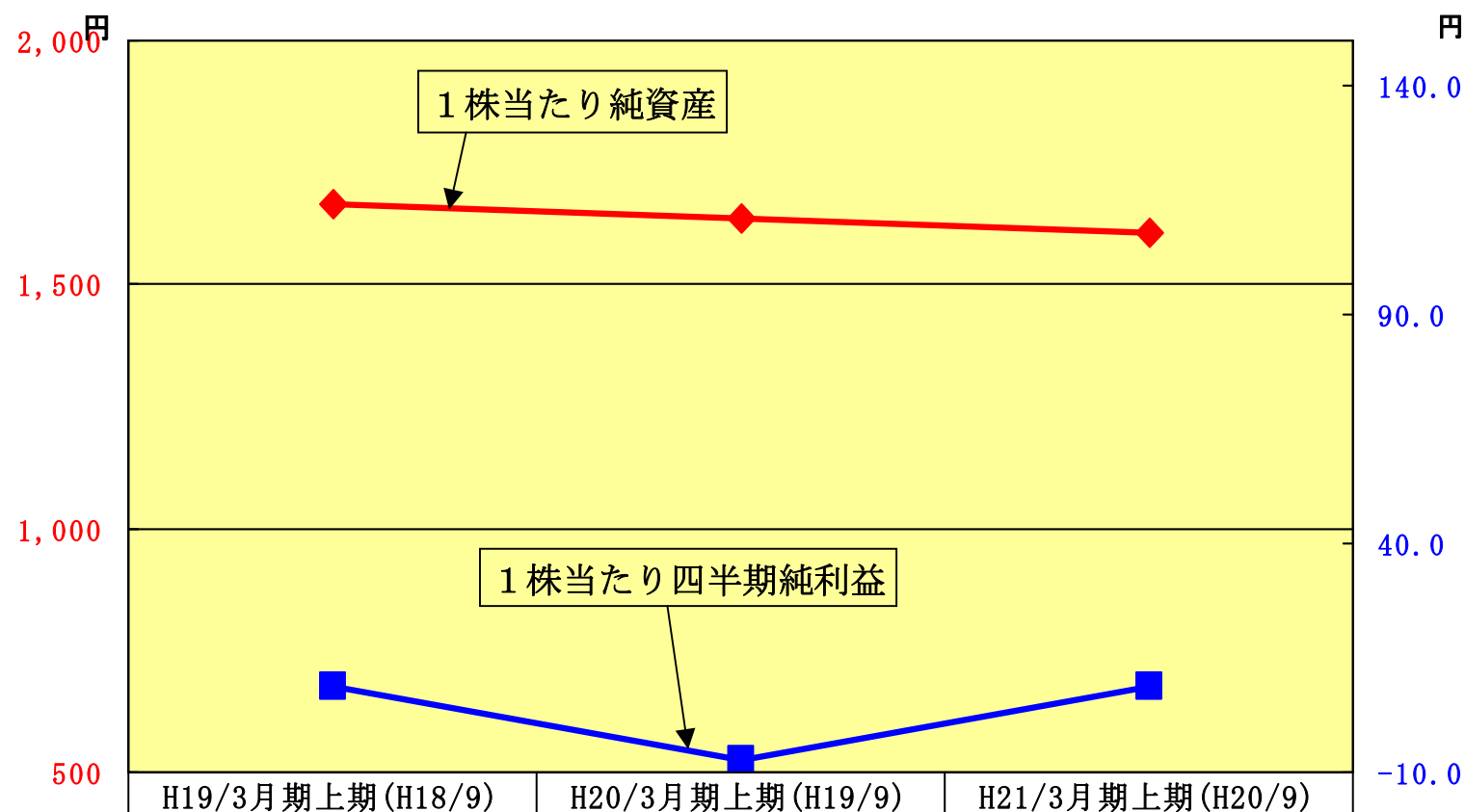


事業別 売上高



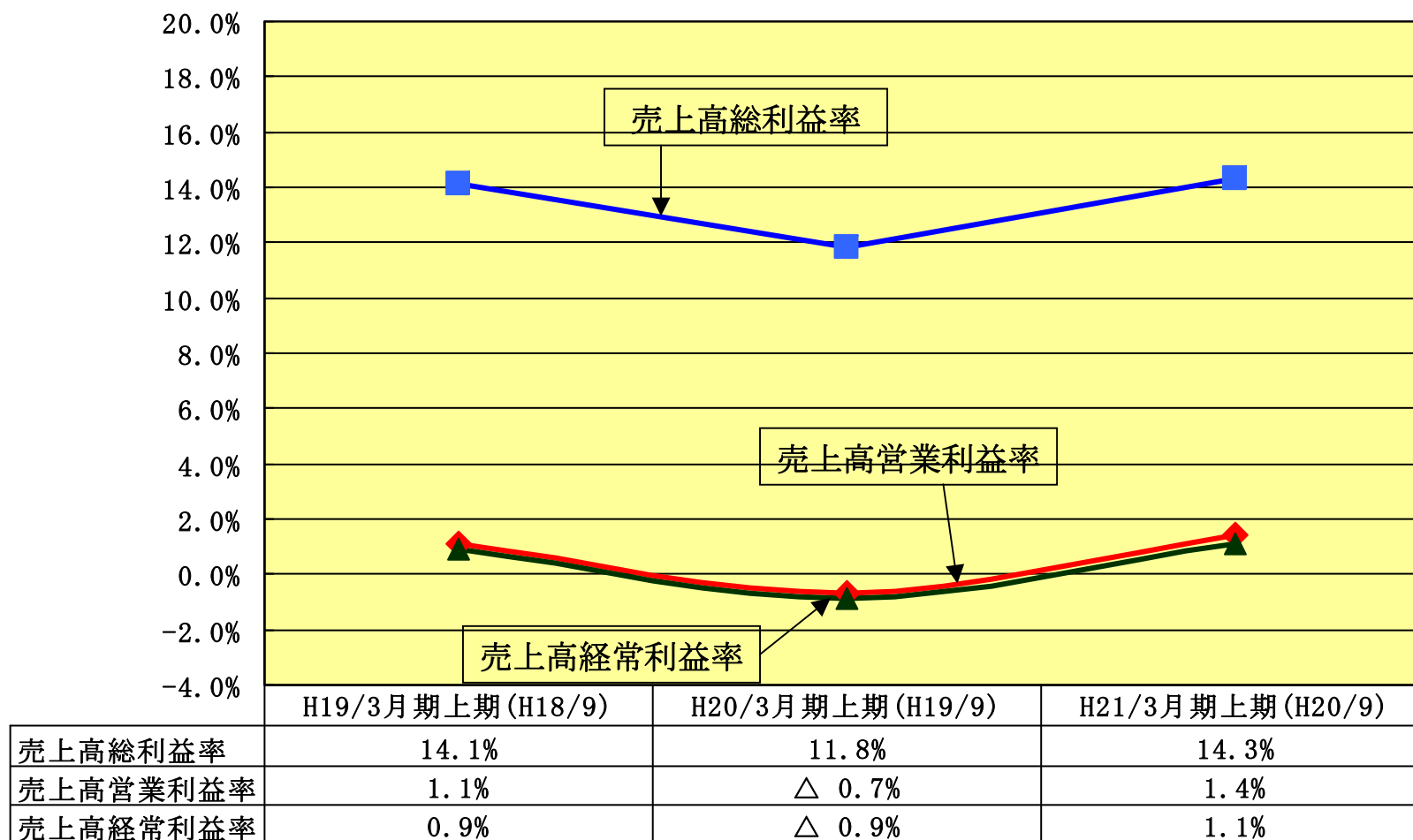
經營指標

経営指標 I

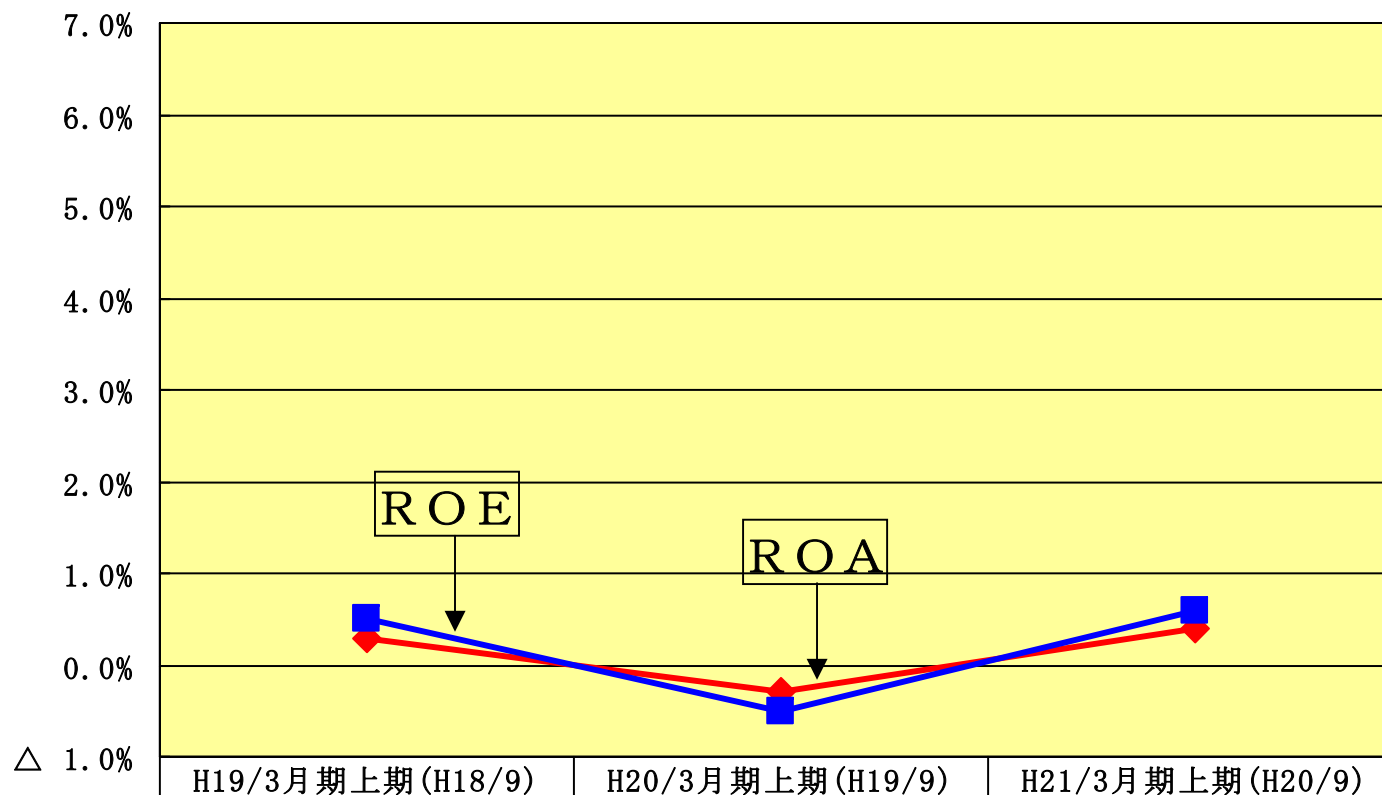


	H19/3月期上期 (H18/9)	H20/3月期上期 (H19/9)	H21/3月期上期 (H20/9)
1株当たり純資産	1,665.89	1,634.79	1,604.70
1株当たり四半期純利益	8.89	△ 7.47	8.85

経営指標Ⅱ



経営指標Ⅲ



	H19/3月期上期 (H18/9)	H20/3月期上期 (H19/9)	H21/3月期上期 (H20/9)
ROA (総資産経常利益率)	0.3%	△ 0.3%	0.4%
ROE (自己資本四半期純利益率)	0.5%	△ 0.5%	0.6%

平成21年3月期 業績予想

平成21年3月期の業績予想について

今後のわが国の経済は、国際的金融市場の混乱が実体経済へ波及することにより世界的な景気後退が懸念され、設備投資の抑制や雇用情勢の悪化、また原油価格、為替相場及び株式市場の急激な変動等による先行き不透明感が更に拡大することが予測されます。包装資材業界においては、国内景気の後退局面への移行に伴い個人消費が低調に推移することが見込まれ、また第2四半期までの原油価格の高騰による原材料価格等のさらなる再値上げが実施されるなど、引き続き厳しい経済環境が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社は、営業面では大阪営業所を拠点に関西地方での受注活動をはじめとした新規客先の積極的な開拓、原材料等価格の上昇に対する適正価格への改定交渉及び取引条件の改善等に注力するとともに、生産面では生産効率及び品質の向上による製造コストの引き下げを推進することなどにより、引き続き収益基盤の強化を図ってまいります。また、新在庫管理システムを活用した生産管理業務の適正化・効率化を推進するとともに、内部統制システムの維持・強化などによる企業価値の向上に努めてまいります。

通期の業績につきましては、第3四半期以降における日本経済や経営環境が不透明であるため、平成20年5月23日公表の業績予想（売上高11,200百万円、営業利益70百万円、経常利益27百万円、当期純利益39百万円）の修正は行なっておりません。

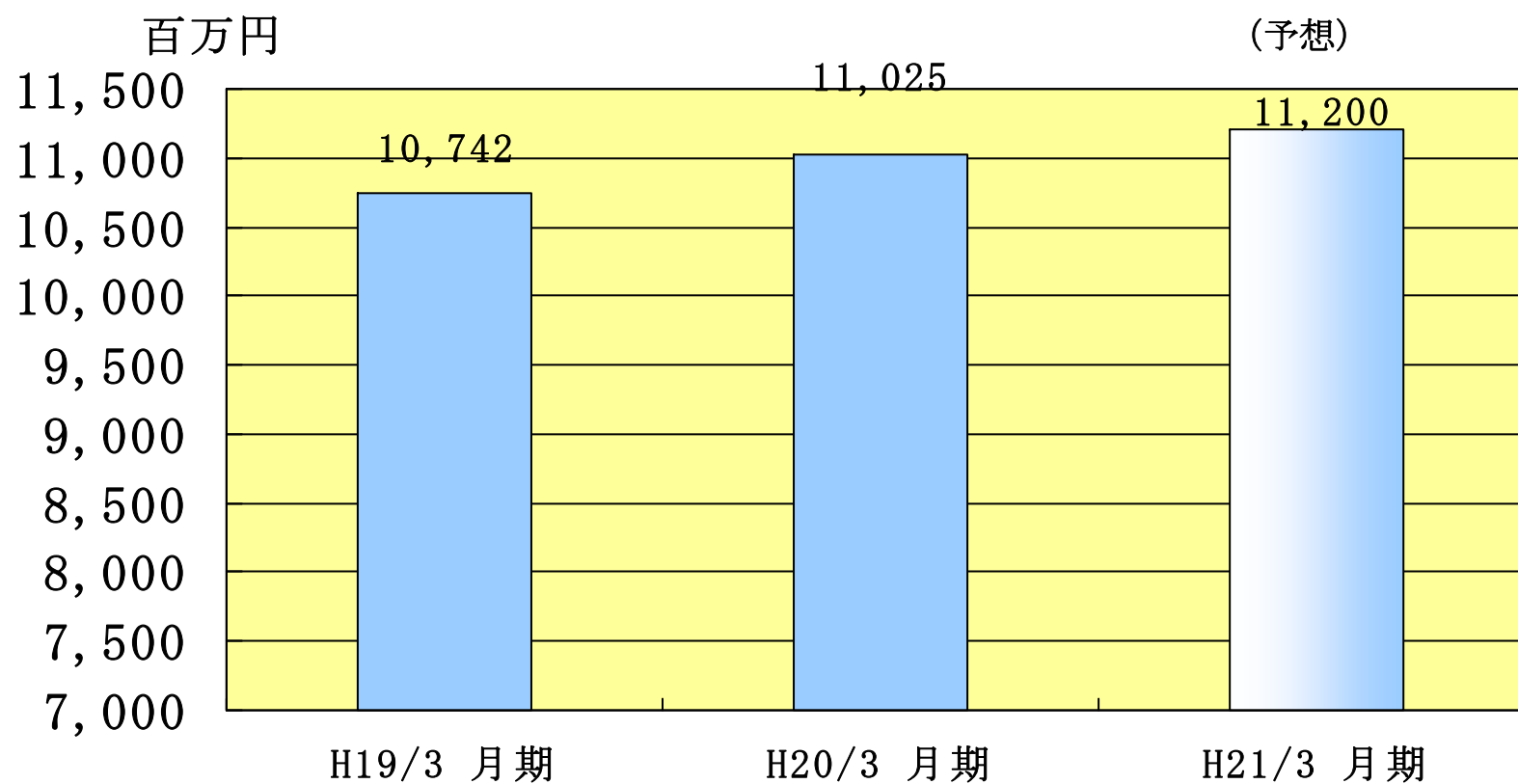
平成21年3月期の業績予想

(単位：百万円)

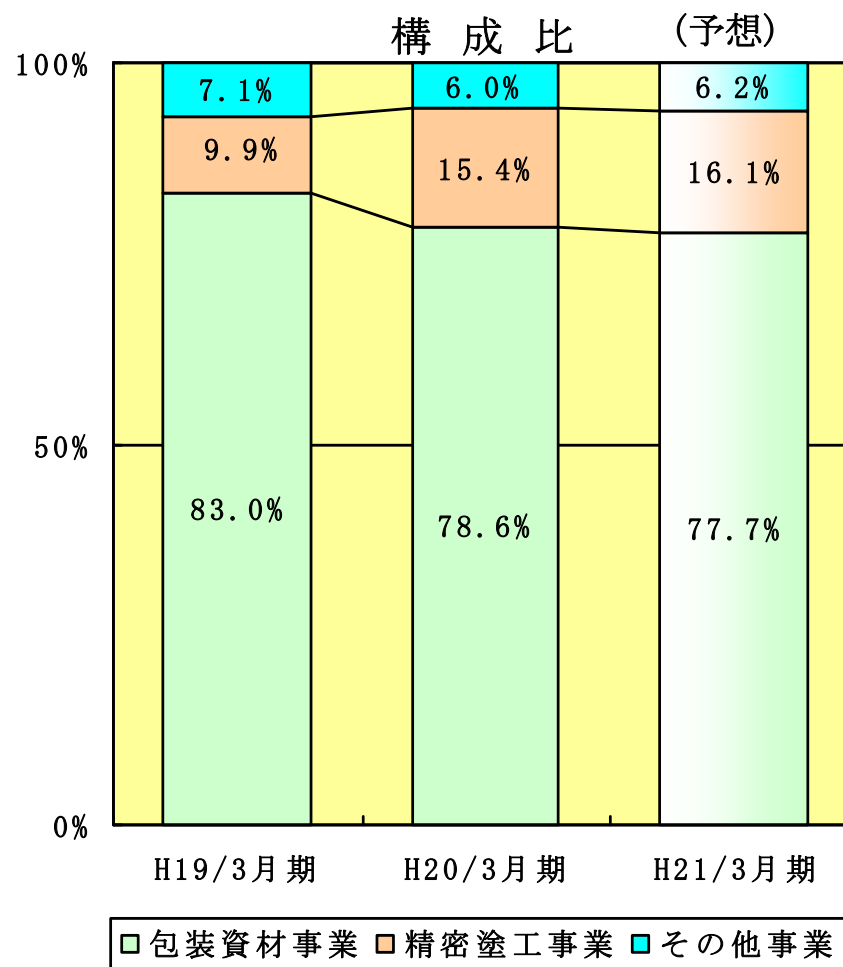
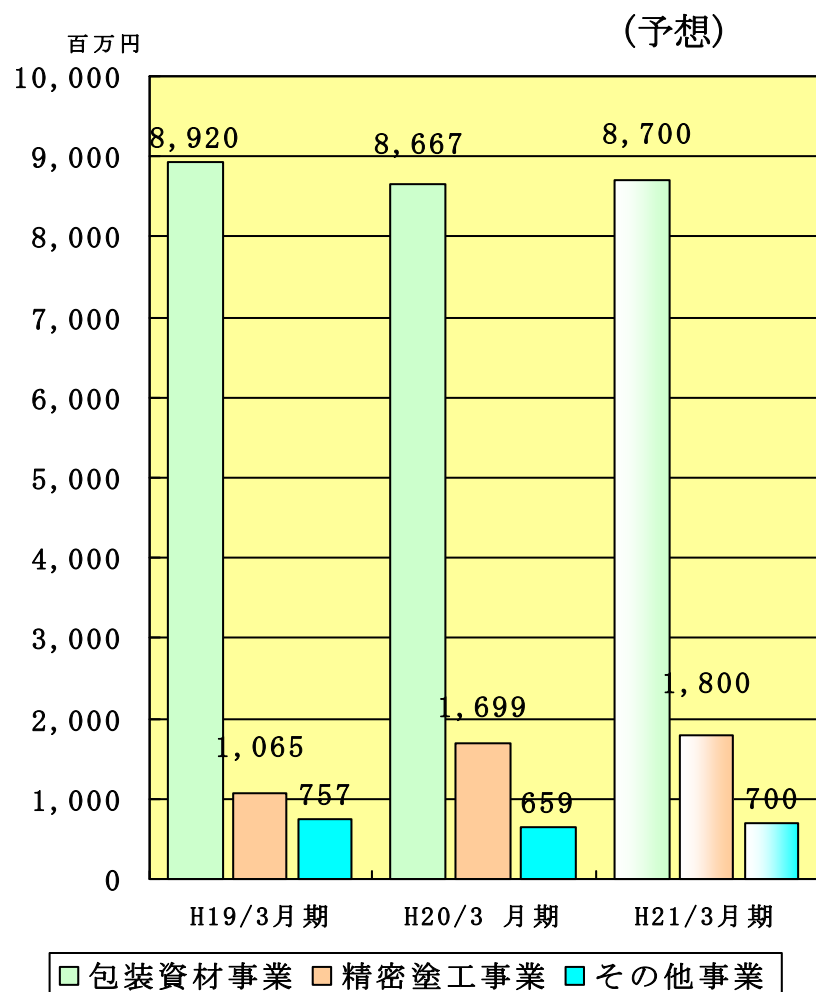
	上期(実績)		通期(予想)	
	金額	売上高比率	金額	売上高比率
売上高	5,728	100.0 %	11,200	100.0 %
営業利益	81	1.4	70	0.6
経常利益	60	1.1	27	0.2
当期純利益	49	0.9	39	0.3

(注) 平成21年3月期通期の業績予想に関しては、第3四半期以降における日本経済や経営環境が不透明であるため、平成20年5月23日公表の業績予想の修正は行なっておりません。

通期売上高



事業別 売上高



経営の基本方針

当社は、経営理念に基づき、お客様の立場にたって、包装資材事業を中心とした製品に関する様々なニーズにお応えすることが豊かな社会への貢献につながるものと考えます。

またグローバルな企業競争下の社会環境において、長年の知識と技術力を基礎に技術革新に励み“よきモノづくり”を極め、きめ細かいサービスによりお客様のご要望にお応えすることを目指しております。

<経営理念>

- | | |
|-----------|----------------|
| ・ お客様に学べ | それが社会への貢献につながる |
| ・ 技術革新に挑め | それが会社の発展につながる |
| ・ 夢と利益を追え | それが皆の幸福につながる |

企業行動規範

- ① 私たちは、社会への奉仕と貢献、社会的信用を重視し、本業による適正な利益を追求します。
- ② 私たちは、未来の真に豊かな社会の実現のため、環境破壊と汚染の防止に積極的に取り組みます。
- ③ 私たちは、社会との良好な連帯に努めるとともに、反社会的な勢力および団体等と一切関係を持ちません。
- ④ 私たちは、法律・規則を遵守し、さらに社会的・道義的責任を自覚し、節度と良識ある行動に努めます。
- ⑤ 私たちは、重要な会社情報を最善の注意をもって取扱い、適時に開示します。また、インサイダー情報を不正に利用した株式の売買等を行ないません。
- ⑥ 私たちは、お客さまに感謝の念と誠意をもって接し、お客さまの満足と信頼を大切にします。
- ⑦ 私たちは、時代の変化・要求をとらえた新技術、新製品を開発し、より良い製品とより良いサービスを社会へ提供して行きます。
- ⑧ 私たちは、礼節を重んじ、相手の立場を尊重し、より高い人格の形成と差別のない明るい公平な社会の実現に努めます。
- ⑨ 私たちは、「安全と健康は全てのものに優先する」を基本とし、より安全で快適な職場をつくります。
- ⑩ 私たちは、自らの専門技術と知識を高め、自由活発な意見交換を通じて、創造性豊かな、活力ある企業集団にします。

トーイン株式会社

《事業所》

●本店・柏工場

〒277-0804 千葉県柏市新十余二16-1

TEL : 04-7131-2111(代) FAX : 04-7132-6937

●東京本社

〒136-0071 東京都江東区亀戸1-4-2

TEL : 03-5627-9111(代) FAX : 03-3638-1134

●野田事業所

〒270-0237 千葉県野田市中里231-5

TEL : 04-7120-8805(代) FAX : 04-7120-8017

●大阪営業所

〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-1-7

TEL : 06-6136-4351(代) FAX : 06-6136-4363

《子会社》

● TOIN (THAILAND) CO., LTD. (トーインタイランド)

タイ国バンコク

○ホームページURL <http://www.toin.co.jp>

○本資料に関するお問合せ

経営企画部 TEL : 03-5627-9111 FAX : 03-3638-1131